

宮古月ぬあーぐ (二揚げ)

弦指 2 - - 3 - 2 - - 3 2 2 3 1 3 3 - - 2 - - - 2 2
 〇 - - 〇 - 人 中 - 人 中 人 〇 中 中 - - 〇 - - - 人 中

① 四 四 四 工 工 尺 磔 磔 八 磔 尺 工 吐# 工 吐# 吐# 吐# 四 四 四 四 尺 磔

2 - - - - - 3 1 2 - -
 〇 - - - - - 〇 中 〇 - -

② 四 四 四 四 四 工 吐# 四 四 四

1 みや く づ う っ ちゃ
 2 みや く づ う っ ちゃ
 3 な か ほ や あ ぬ
 4 う ふ ゆ う ばい
 5 は つ く が つ ぬ
 6 ま す と う りや あ た
 7 な ん か ま あ い

1. 宮古節や 島あならし ん参ばよ
 (*うやき ゆうならしよ)
2. 宮古節や 誰がどう根立ていい たいがよ (*)
3. 仲保屋ぬ 池間主が はだんどうよ (*)
4. 大裕ばい ていだゆうばい 主やいばよ (*)
5. 八九月ぬ つーぬんまぬいや いらびどうよ (*)
6. ます取た 合取りやたが 取りやまいよ (*)
7. 七日まい 八日まい あすばでいよ (*)

工 づ
 四 みや く 工 う っ ちゃ
 合 四 四 四 四

2 - - 3 - 2 - - 3 2 2 3 1 3 1 - - 2 - - - 2 2
 〇 - - 〇 - 人 中 - 人 中 人 〇 中 中 - - 〇 - - - 人 中

③ 四 四 四 工 工 尺 磔 磔 八 磔 尺 工 吐# 工 吐# 吐# 吐# 四 四 四 四 尺 磔

1 すい い ま あ な あ ら し ん みや あ い ば あ よ
 2 た あ る う が あ どう う に だ て い た い が あ よ
 3 い い き い ま あ し ゆ が は だ あ ん どう う よ
 4 てい い だ あ ゆ う ば い し ゆ や あ い ば あ よ
 5 つ う ぬ う ん ま ぬ い や い ら あ び どう う よ
 6 あう う と う りや あ た が と う りや あ ま い い よ
 7 や あ う う か あ ま い あ す う ば でい い よ

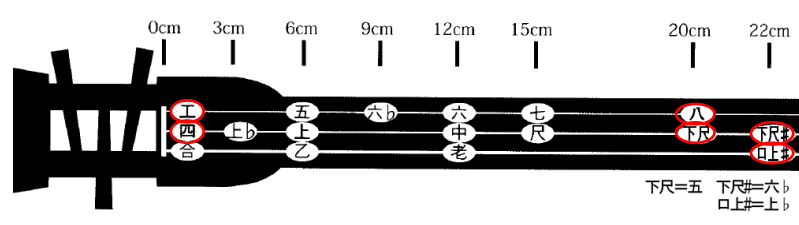
工 い ま あ な あ ら し ん あ
 四 すい 工 工 五 六b 六b 五 工 工 吐# 吐# 吐# 吐# 四 四
 合 四 四 四 四

2 - - 3 - 2 - - 3 2 2 3 1 3 1 - - 2 - - - - -
 〇 - - 〇 - 人 中 - 人 中 人 〇 中 中 - - 〇 - - - 人 中

④ 四 四 四 工 工 尺 磔 磔 八 磔 尺 な 工 吐# 工 吐# 吐# 吐# 四 四 四 四 尺 磔

う う や あ き い ゆ な う う ら し い よ

工 う や あ き 八 ゆ な う う
 四 う 工 工 五 六b 六b 五 工 工 吐# 吐# 吐# 吐# 四 四
 合 四 四 四 四



1. ミヤークヅツは 島中を鳴り轟かせて 参ったよ
 豊かさ幸せ 実らせておくれ
2. ミヤークヅツは どなたが提案されたのか
3. 仲保屋に住んでいた 池間の主の時代だよ
4. 大きな豊かな繁栄 太陽の豊かなめぐみ 親方だからね
5. 八月九月の 甲午の日を 選んでね
6. 升、量り手たちが 合、量り手たちが 測ってもね
7. 七日間も 八日間も 遊ぼうじゃないか